

# 会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 23年 7月 21日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 10分
会議名	丸子地域協議会(平成 23年度第 4回)		
出席委員	斉藤会長、北村副会長、池内委員、内田委員、倉沢委員、上坂委員、笹井委員、佐藤委員、清水委員、関委員、滝澤委員、中澤委員、成澤委員、丸山委員、宮下委員、村松委員、山越委員【欠席】生田委員、松山委員、横山委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、峰村公園緑地課長、芹澤市民生活課長、松井健康福祉課長、矢島産業観光課長、小林消防課長、松村上下水道課長、高野丸子学校給食センター長、滝沢丸子地域教育事務所長補佐、芳池公園緑地担当係長、井澤管理担当主査、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

## 会議次第

### 1 開会（宮澤センター次長）

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告

### 2 あいさつ（斉藤会長）

本日も全体会の後に分散会を予定しています。今までの分散会の中で、色々なテーマが出されたと思いますが、本日はテーマを絞れるような形で分散会をお願いしたいと思います。また、次回から専門部会等を立ち上げられるような方向で本日の協議会を締めくくりたいと考えています。どうぞよろしくをお願いします。

### 3 報告

#### (1) 信州国際音楽村公園について（公園緑地課）

- ・資料に基づき、公園の名称、整備経過等について報告
- ・6月に整備終了。開設に伴い名称を変更する。「信州国際音楽村周辺公園」から「周辺」を外し「信州国際音楽村公園」を正式名称として、条例に登載する。音楽村のイメージアップ、バリューアップが図られると考えている。

資料 1: 信州国際音楽村の公園開設に伴う名称について、信州国際音楽村公園平面図

### 4 その他

#### (1) 前回の分散会での協議内容について

##### 第 1分散会（第 1分散会長から報告）

##### 荒廃農地について

- ・荒廃地が目立つ、専門部会を作って協議したらどうか。

##### 市民感覚で協議するシステムづくり

- ・各種団体との懇談会により、丸子地域の課題が見えてくることもあるのではないかな。
- ・議員、自治会長、協議会委員の三者懇談会の中で議題を探る。協議会としての方向付けもできるのではないかな。早急に会議を持つよう提案したい。

緊急時及び災害時の支援対策をどうするかを検討するチームをつくる

- ・住民支え合いマップと緊急連絡カードに共通点はあるか。それとも、全く違った内容か。行政としての考えを聞きたい。社協と行政のやっていることで重複部分があるのでは。交通弱者（買い物弱者）の支援
  - ・組織として加わるのではなく一個人、会員として利用者の目線で提案や協力をしたい。住民の自主事業の活動を支援する
  - ・事業の持続性や継続性をどう発展させていくか。そのサポートを協議会が行う。（例えば、事業同士を具体的に結びつける交流の場を作る。）
- その他
- ・期間を限定し、問題を絞り込んで議論しなければまとまらないのではないか。
  - ・専門部会を作りたいということ全体会で提案し、了解を得られれば部会を立ち上げる。

第2分散会（第2分散会長から報告）

- 公共交通に関する研究について（交通弱者、買い物弱者への対応）
- ・まりんこ号や東西内村バス路線の効率化などについて。
- 里山整備に関する研究について（荒廃農地の解消）
- 魅力アップ応援事業の採択状況について
- ・魅力アップ事業にもっと参加してもらうために地域協議会でも何かできないか。植樹等の事業で、過去に魅力アップ応援事業に採択された団体との交流について

(2) 次回会議の開催日等について

- ・第5回丸子地域協議会 平成23年9月1日（木曜日）午後1時30分から  
丸子地域自治センター 4階 講堂
- ・第6回丸子地域協議会 平成23年9月29日（木曜日）午後1時30分から
- ・第7回丸子地域協議会 平成23年10月20日（木曜日）午後1時30分から
- ・第8回丸子地域協議会 平成23年11月17日（木曜日）午後1時30分から
- ・第9回丸子地域協議会 平成23年12月15日（木曜日）午後1時30分から

(3) 説明会等の開催日について

(ア) 上田市景観計画住民説明会

- ・平成23年7月22日（金） 午後7時 丸子文化会館 大会議室

(イ) 加藤さゆり長野県副知事講演会

- ・平成23年7月23日（土） 午後1時30分 丸子文化会館 小ホール

(ウ) 信州夏期大学について（丸子地域教育事務所）

- ・丸子文化協会主催講座（無料）含む計5回の講座 丸子文化会館 小ホール  
午後7時～（9月1日（木）のみ午後3時～） 受講料 1回 100円
- 資料：第49回信州夏期大学 この国のゆくえを考える

(4) その他

主な質疑の内容

（委員）今月初め、中丸子自治会で火事があった。あちこちに消火栓はあるが、地元として消火栓を使えないか。自主的に使えるものはあるか。また、火災の放送は、4、5年ほど前から地域を特定していない。個人情報の問題もあると思うが、地域を特定して火災の放送をし

てもらうことはできないか。

(消防課長) 本来消火栓は、火災が発生した場合に、住民の皆さんによる初期消火に使っていただくものである。そこには、器具箱や器具箱の中にはホース、消火栓を開ける開閉器具、管そうが入っている。地元の皆さんには優先して使っていただき、消防隊が来た時には、消火栓を消防隊の車両に使わせていただき、消火するというものである。今回の中丸子の火災については、初期消火がどのように行われたのかは把握していないが、消火栓は、初期消火目的で地元の皆さんにまず使っていただくものということで御理解いただきたい。場所によっては、消火栓の器具箱が設置されていない所もあるが、そうしたところについては、補助事業等で消火栓器具箱、ホース、開閉器具等を充足していただければと思う。緊急放送は、消防本部警防課の通信指令室から一斉に流し、電子メール等でも配信される。

(委員) 今回の火災では、初期消火がうまくできなかつたと聞いている。消防隊が来る前に何ヶ所かで初期消火できたのか、検証していただきたい。今後、火災が起きた時のために、地元の消火栓を使った初期消火訓練も必要である。徐々に知識も薄れてくるので、できるだけ何回もあちこちで訓練をしてもらいたい。皆でそういう考えを持っていただきたい。緊急放送で地域を特定できないとすると、近所で火災があっても実際にわからない事もあるということ。有線等で、場所を特定できるような放送を考えていただきたい。

(消防課長) 消火栓の取り扱い訓練については、上田市の各自治会においてそれぞれ自主防災組織を設置していただいているので、そこを主体としての訓練が考えられる。また、消防署から消火栓の指導に出向するという事もできる。また、地元にも消防団員がいるので、そちらに指導してもらってもいいと思う。

(委員) 最近、市から消防施設の購入希望の書類が来た。長瀬は、第 5 分団と一つにまとまってしまったが、各自治会対応はどのようにしたらいいか。

(消防課長) 消防施設の整備の関係については、毎年秋に各自治会長さんに文書を送し、消火栓の器具箱やホース等の購入の要望を取っている。消防団については、それぞれの自治会の消防団が一つになり第 5 分団となっている。消防組織の編成により一つの分団になっているが、自治会はそれぞれ上長瀬・下長瀬・町組ということで、要望は自治会単位でしていただきたい。

(委員) 荒廃農地の現状等に関する資料について、平成 22 年度調査とあるが、どこがどのような方法で調査をしたか。集計値は地目上での農地のことを言っているのか、それとも農振の農地について指しているのか。調査した情報は図面で残されているのか。

(産業観光課長) 各農業委員会の委員が現地を確認し、まとめている。数字については、農業用地を含めた全体で、農振エリア全体から拾っている。図面は産業観光課で保管している。

5 閉会 14:10 地域協議会終了後、分散会を開催(第 3 4 会議室)